

2021 年度実施概要

学校名

小笠原村立小笠原小学校

採択活動名

アオウミガメの学習

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1. アオウミガメの学習	5 年生	総合
2.		
3.		

取り組みの概要

小笠原海洋センター（NPO 法人）の全面協力により、身近な存在である小笠原父島でのアオウミガメについて、生態・歴史等を年間通じて学習する内容である。主な活動としては1年間を通し、春に海岸に産卵された巣を掘り起こし、その卵を学校設置の移殖箱に移し、孵化の様子を観察、孵化した稚ガメを海洋センターにて飼育し、年度末に放流するという体験活動を中心とした授業を展開している。児童はこれらを通して、アオウミガメへの愛情を深めるとともに、主体的に学びを深めていく態度を育成する内容となっている。

また、アオウミガメ保護・調査活動「産卵調査」「卵の移植」「標識付け」や飼育活動「定期計測」「水槽掃除」など小笠原海洋センターに行っている日々の取り組みにも体験的な学習として児童が参加している。生態の知識を深める学習においては、解剖調査・骨格標本観察など行っている。また、歴史・文化的側面も並行して行っている。そして、保護者の協力のもと、夜間にアオウミガメの産卵を観察、産卵するアオウミガメを光害から守るパトロール、アオウミガメの夜間放流体験なども行っている。

教科等横断的な視点による組織的な取組として、小笠原独自の自然環境について、その学習の広がりにつなげていくように社会科の環境学習的な単元に関連付けたり、発表会においては、国語で培った言語力、スライドを使用したICT活用力を関係付けたりした。

学習のまとめとして、5年生が1年間の「アオウミガメの学習」で学んだことを4年生と海洋センターの方々への発表を行った。今回はグループごとに「カメの生態」「子カメの飼育」など追究したい課題を設定し、それについてまとめていった。単に知識だけでなく体験から感じ取ったことを生かして、記録写真をもとにまとめたり、新たな疑問について調べたりと主体的な学びを深めていく姿みられた。

